

令和2年7月3日～8日にかけての集中豪雨の影響により、九州を中心に日本各地で甚大な被害が発生した。熊本県球磨村では、球磨川本流及び複数の支流が増水氾濫し、幹線道路や村道が冠水・損壊し、また道路への土砂流出等の影響を受け通行不能となり、村内のほぼすべての集落が孤立状態となった。特に、球磨村神瀬地区においては多くの集落で浸水被害が発生するとともに、山腹崩壊等による土石流により橋の流出や家屋への土砂流入が発生した。

出典：「球磨村：球磨村復興計画, 令和3年3月.」



図-1 浸水状況 (球磨村神瀬地区)



図-2 浸水状況 (球磨村鶴口集落)



図-3 渡小学校の浸水状況



図-4 被災状況 (球磨村茶屋集落)

写真：「球磨村：球磨村復興計画, 令和3年3月.」